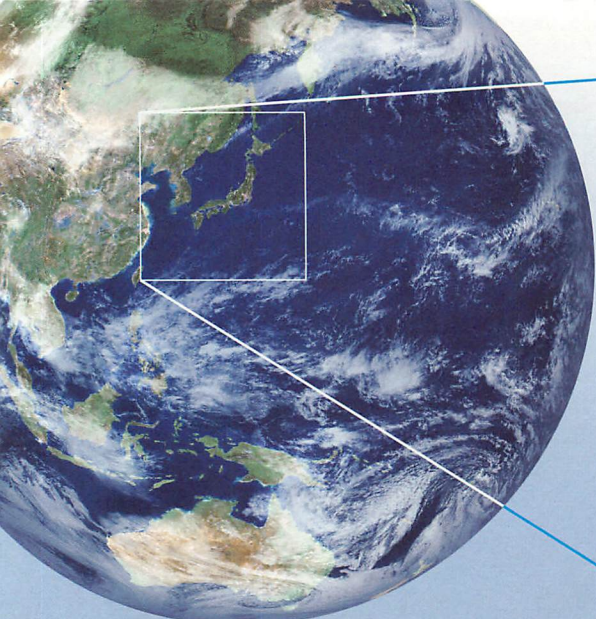


14NJ 来夏へ向け本格始動!



No.626 スカウティング
2005/7



©Product/VGL/Planetobserver/Geoscience Agency/Artbank



©Product/VGL/Clear Light Image Products/Geoscience Agency/Artbank

第14回日本ジャンボリー 来夏へ向け本格始動！

2006年8月3日(木)～7日(月) 石川県珠洲市 りふれっしゅ村 鉢ヶ崎

14NJの3つの特色:スローライフ、環境、交流について大会の基本構想などでも触れられていますが、14NJ実行委員会の西村委員長(石川県連盟理事長)は、特にこの3つの特色をアピールしています。



●スローライフ：自発活動に基づくゆとりあるキャンプ生活

14NJはこれまでの活動プログラム重視のジャンボリーを見直し、ゆとりあるキャンプ生活の実践に重点を置いた大会を目指します。期間中の日々のキャンプ生活もジャンボリーの重要なプログラムであるとして、スカウトのキャンプ生活の基本を再確認する意味からも炊事用燃料として「薪」の活用を取り上げています。

この薪を得ることと並行して、地元石川県連盟ではスカウトたちの手による植林活動もすでに昨年から始められています(本誌2004年5月号18頁参照)。薪は主にクヌギ、コナラなどの煙が少なく火持ちが良いとされる材を用い、およそ30cmの長さで配給される予定です。

ぜひとも各隊で、今夏のキャンプからでも薪による炊事のトレーニングを進めてください。

●環境：自然環境を考えたキャンプの実践

大阪で開催された前回のジャンボリーの会場は、大会開催以前から上下水道が完備された場所でした。しかし今回の会場はそのどちらも備えられていない会場です。上水は珠洲市の協力ですでにジャンボリーのために確保されていますが、課題となるのが下水です。会場は海岸に隣接しており、その海では海草などの養殖や定置網漁も行われています。洗剤やシャンプーなどの使用とその排水の処理については大会参加者全員の高い意識が欠かせません。

今後実行委員会でそれらのガイドラインをまとめていきますが、各隊においても参加スカウトたちへの環境教育指導をお願いします。この課題はそもそも今回のジャンボリー参加のためだけのものではありません。今後の地球環境を保っていくためにも、すべての人々が持つ共通の課題として取り組むべきものです。今回の大会をその好機ととらえ、ポジティブに取り組んでいきたいと思います。



石川県珠洲市
りふれっしゅ村 鉢ヶ崎

テーマ:風の不思議を突っ走れ! —Scouts Wave 100—

14NJの3つの特色は、スローライフ、環境、交流

来年、2006年夏に開催される日本のボーイスカウト最大の祭典「第14回日本ジャンボリー」。これまで4回開催されてきた実行委員会から一歩進んで、去る6月4日東京・国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催された第5回の実行委員会においては、全国から各サブキャンプの野営長を迎えていよいよ1年後に迫ったジャンボリーに向け活発な議論が行われました。

●交流：国際交流を通じた国際理解と友情の構築、そして地域社会との交流

日本ジャンボリーは、全国の代表スカウトたちと海外からの参加者が一堂に集う、我が国スカウト運動最大の国際キャンプ大会です。14NJは翌2007年に世界スカウト運動創始100周年を迎えるにあたっての、我が国の記念事業の一つでもあります。この世界スカウト運動創始100周年記念事業の世界共通のテーマ「ひとつの世界 ひとつのちかい」(One World One Promise)を実践する大会とも位置づけられます。これまでのジャンボリーにも増して、スカウトたちの交流が期待されます。

また今大会の会場の特色として、地域住民の生活の場との隣接という点も挙げられます。大会会場と地域住民の生活地との境

目がほとんどなく、また会場が面する海岸は他地域からも人々が訪れる観光地でもあります。ジャンボリー参加者以外の方々と触れ合う機会を大切に、またスカウトたちには「ふるさと交流」のような体験機会の提供も考えられています。

会場上空より南の方向を見る



来年14NJ会場となる場所で今夏開催される「ボーイスカウト環日本海大会」に合わせるなど、この夏、14NJ会場の踏査をされる方々も多数おられると思います。一足先に、大会会場を誌上でご案内します。

■会場の地理的条件

●会場

石川県珠洲市蛸島町「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」
北緯37度26分24秒・東経137度13分36秒 海拔 平均5m
金沢の中心地から能登有料道路を経由して、車で約2時間半。小松空港および富山空港から車で約3時間。能登空港から車で約1時間の場所です。

●地勢・面積

日本海を臨む能登半島の最先端に位置する珠洲市の中心地より東へ約5kmに位置し、大自然に囲まれ、オートキャンプ場、ホテル等を備えたリゾート地「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」とその周辺を会場とします。
9つ設けられるスカウトたちの宿营地:サブキャンプはそれぞれおよそ40,000m²~45,000m²。その他プログラムエリアなどを合わせ、総計およそ1,100,000m²。東京ドーム24個分(!)の面積をジャンボリー会場として使用します。

●気候

過去5年間の8月の気候は、平均気温25.3度(最低14.7度、最高34.8度)、また平均降雨量は94.7mmで、沿岸地特有の気候です。



1. JHQ、アリーナの間の道から西を見る

この場所が開拓され、アリーナになる。
現在は工事が写真の時点よりもさらに進んでいる。ブルドーザーのあたりから奥に向けてがフラットな広場状の舞台となり、写真右手の森の丘がすり鉢状の観客席となる。開・閉会式と大集会はいずれも夕刻開始。写真左手方向にすばらしい夕陽が見られるだろう。

JHQ: ジャンボリー大会本部

2. JHQ、アリーナ、売店が接する交差点から南の方角を見る

正面が珠洲ビーチホテル。人物左手がJHQ、右手がアリーナとなる。交差点の奥には左右にそれぞれスカウト用品売店と飲料売店が設けられる予定。この交差点が14NJ会場の中で最も多くのスカウトが行き交うメイン交差点となりそうだ。



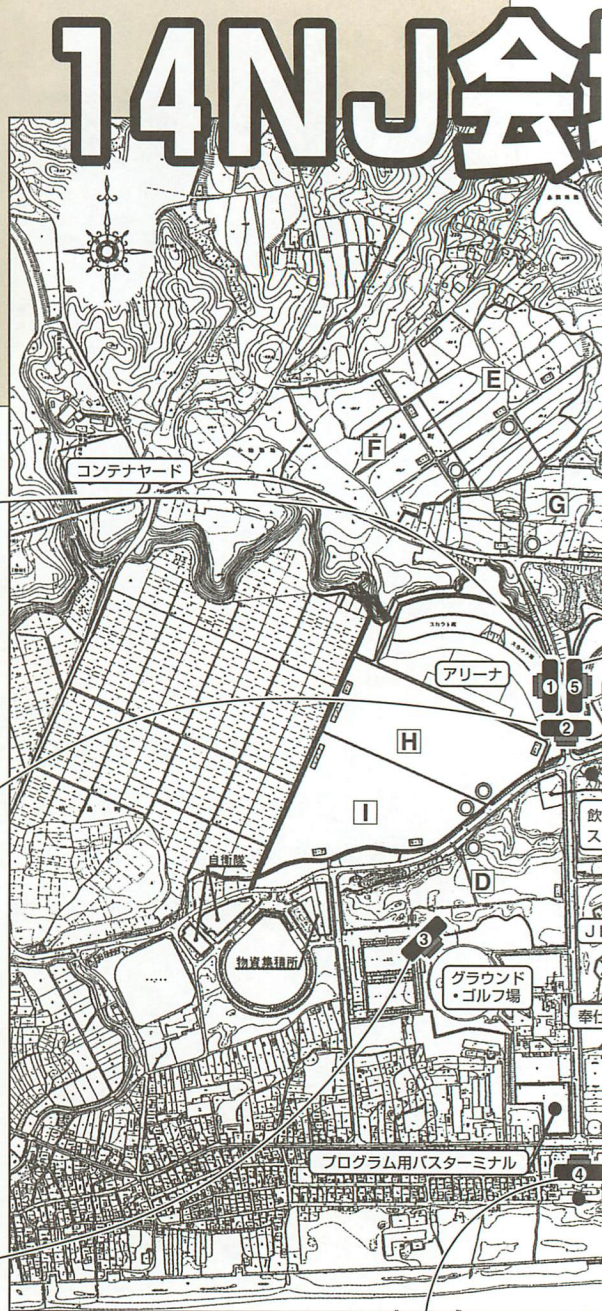
3. グラウンド・ゴルフ場から南東の方角を見る

グラウンド・ゴルフ場。利用計画図の円との対比でスケール感が掴めるだろう。

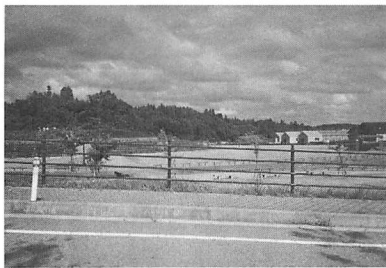


4. 珠洲ビーチホテル最上階から北の方角を見る

写真右手にある草地在が8の広場。その中央奥の砂地が奉仕隊宿营地。その奥の緑地がJHQ要員宿营地。さらにその奥の山林の手前が宿营地C、一般売店、JHQとなる。写真やや左の奥へ伸びる道が会場利用図下半分を南北に直進する道路。その左の砂利の空き地がプログラム用バスターミナルとなる。その奥、駐車場越しにある建物はレジャー入浴施設「すずの湯」。左端奥の芝地は3のグラウンド・ゴルフ場。プログラムエリアとして使われる。



場に行く



5. JHQ、アリーナの間の道から東を見る
この公園のような広場にJHQが置かれる。



6. JHQ要員宿営地から南西方向を見る

JHQ奉仕者はこのようなエリアに宿営することになる。



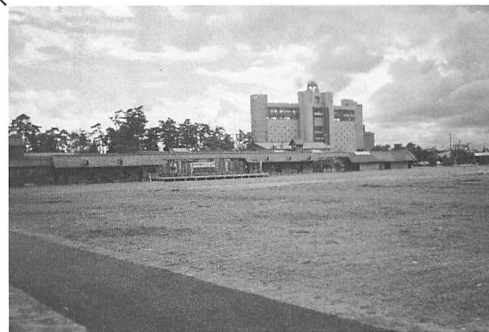
7. JHQ要員宿営地中央から西方向を見る

写真の芝地がこのJHQ要員宿営地中央の半円状の広場。普段はオートキャンプ場。



凡 例	
アリーナ	68,090m ²
JHQ・本部食堂	10,650m ²
A	44,440m ²
B	45,130m ²
C	40,580m ²
D	42,050m ²
E	40,620m ²
F	40,090m ²
G	40,210m ²
H	41,500m ²
I	41,500m ²
飲料売店・スカウト用品売店	1,800m ²
一般売店	2,000m ²
コンテナヤード	12,000m ²
自衛隊	3,700m ²
物資集積所	3,200m ²
JHQ要員宿営地	37,000m ²
奉仕隊宿営地	14,000m ²
プログラム用バスターミナル	17,960m ²

各宿営地に付けられたA～Iの記号は作業用のものです。サブキャンプの配置は9月開催の第6回実行委員会が決められる予定です。



8. JHQ要員宿営地南から南西の方角を見る

手前の草地は2003年にこの地で開催された第9回日本アグナリーでメインアリーナとして使用されたフラットな広場。14NJではプログラム会場の一つとなる予定。中央奥に見えるのが珠洲ビーチホテル。



9. 珠洲ビーチホテル南の海岸から東方向を見る

多彩なビーチプログラムが計画される珠洲の海岸。砂浜に遠浅の海。通年おおむね波はおだやか。写真から切れた右の奥(南方向)が富山県となる。好天時には富山の陸地や立山連峰も遠望できる。

いよいよ来年夏に迫った第14回日本ジャンボリー。今回紹介できたのは会場のごく一部です。来年の夏、これらの場所が2万人ものスカウトで溢れると考えたら、なんだかワクワクしてきますね。本誌でも引き続きジャンボリーの情報を随時紹介していきますのでどうぞ楽しみに。

なお7月上旬、日本連盟のホームページ内に14NJのサイトが登場する予定です。こちらも併せてどうぞご期待ください。

URL <http://www.scout.or.jp/14nj.html>

よかたい
よかたい
よかそこたい!

平成17年度年次全国大会 福岡にて盛大に開催!



第1日
5月21日
(土曜日)

■ホークスタウンに全国のスカウト関係者が集結

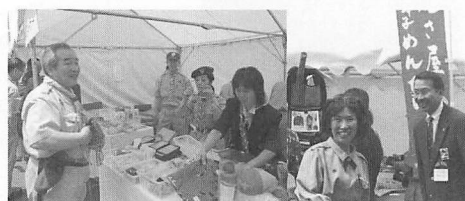
この日、眩しいくらいの晴天のもと、平成17年度年次全国大会が福岡

岡市で盛大に開催されました。会場となったのは、福岡ソフトバンクホークスのホームグラウンド：福岡ヤフードームのあるホークスタウンとその周辺の各種施設。大会当日はドームでの野球の試合もあり、大変な賑わいのホークスタウン。その中心地に置かれたホール：ゼップ・フクオカが、年次全国大会の式典等第1日の全体集會会場となり、多くのスカウト関係者が集いました。



展示コーナー

ボーイスカウト紹介
今年の夏はスカウトムート2005
第14回日本ジャンボリー
子どもの居場所づくり
バングラデシュ派遣事業
第22回世界スカウトジャンボリー
第25回アジア太平洋ジャンボリー
スカウト用品コーナー
福岡物産展示・販売

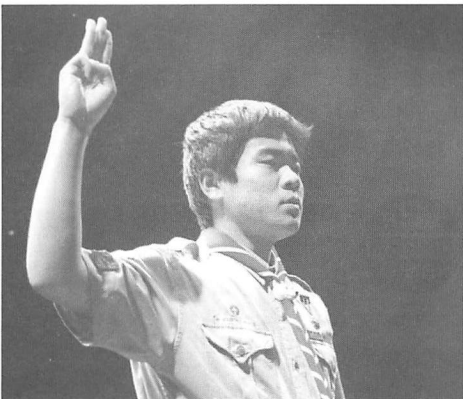


■ 600人を超える参加を得て行われた式典

ゼップ・フクオカの会場内では、21日12時30分より、式典が開催されました。参加者は、来賓22人、参加者491人（年次表彰受章者95人同伴者22人含む）、報道関係者4人、この他に日本連盟事務局18人、福岡県連盟奉仕者130人で、総計665人となりました。



年次全国大会企画推進チームのチーム責任者、鈴木国夫理事による「開式のことば」で式典は開幕。国旗儀礼、国歌斉唱に続いて、福岡第19団のベンチャースカウト木本 翔君による「おきての唱和」が行われました。



続いて行われたのは来賓の紹介。この全国大会に臨席いただいたのは、麻生渡福岡県知事（BS福岡県連盟連盟長）、斉藤斗志二衆議院議員（ボーイスカウト振興国会議員連盟副会長）、北橋健治衆議

院議員（ボーイスカウト振興国会議員連盟会員）、中元弘利福岡市副市長はじめ、右記の22人の方々です。

続いて、日本連盟佐波理事長に代わって橋本副理事長により日本連盟理事長からの挨拶が代読されました。

このあと、来賓の代表として、麻生渡福岡県知事からご挨拶を、斉藤斗志二衆議院議員からは第22回世界スカウトジャンボリーの日本招致を成功させようとの力強いエールをいただき、また中元弘利福岡市副市長から歓迎の言葉をいただきました。

続いて祝電が披露され、物故者に対する黙祷を行った後、式典は閉式となりました。

■ なごやかな表彰式

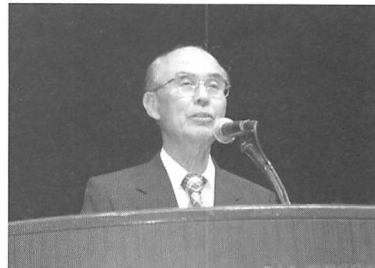
休憩をはさんで、表彰式が行われました。緊張した表情のスカウトや満面の笑みのベテラン指導者など、多彩な方々の喜びの受章に、場内からは惜しめない拍手が送られます。表彰式は1時間近くに及びましたが、最後の方が伝達されるまで、祝福の拍手が会場内に溢れていました。表彰された方々は6月号の全国大会速報4-5頁で紹介しています。



■ 続いて年次報告

再び休憩をはさんで、年次報告に入りました。日本連盟の役員紹介のあと、平成16年度事業報告・決算報告および平成17年度の事業計画・予算説明が上島真一郎常務理事により行われました。

続いて世界スカウト運動100周年記念事業推進委員会の齋藤連郎委員から同記念事業の展開について説明があり、この事業の核となるギフト・フォー・ピースの活動について、ギフト・フォー・ピース準備委員会の青年委員らから提言がありました。



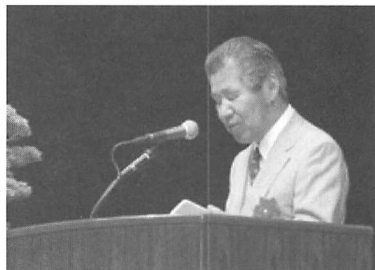
橋本副理事長



麻生渡福岡県知事



斉藤斗志二衆議院議員



中元弘利福岡市副市長

平成17年度年次全国大会 来賓

斉藤斗志二 衆議院議員・BS振興国会議員連盟副会長
北橋健治 衆議院議員・民主党福岡9区
麻生 渡 福岡県知事・BS福岡県連盟長
中元弘利 福岡市副市長（山崎広太郎福岡市長 代理）
重野正敏 福岡県議会副議長（藤田陽三県議会議長 代理）
森山良一 福岡県教育委員会教育長
井口 洋 福岡県教育庁教育企画部生涯学習課長
後藤豊彦 BS福岡県連盟維持財団理事長
森山靖章 福岡中央銀行代表取締役会長
城 裕介 福岡県青少年アンビシャス運動推進室長
小林 力 中央青少年団体連絡協議会事務局長
成清一廣 福岡県青少年団体連絡協議会委員長
宮嶋玲子 ガールスカウト福岡県支部支部長
大谷善博 福岡大学教授
重 政子 NPO法人自然体験活動推進協議会事務局長
丸林茂夫 ボーイスカウト福岡県連盟理事長
尾崎良太郎 尾崎織マーク株式会社代表取締役社長
スーナム・パンツァーク タイ連盟国際コミッショナー
ブラバトン・セナリット タイ連盟APRJ実行委員会事務局長
竹内利満 レンタルハウス株式会社代表取締役社長
石井伸一郎 衆議院議員渡辺具能秘書（渡辺議員代理）
藤田秀男 衆議院議員白見庄三郎秘書（白見議員代理）



記念講演要旨(編集部まとめ)

日本社会は現在「情報化」「国際化」「自由化」と3つの重要な流れにあります。情報化の流れについては、様々なデジタル技術の急速な発展は様々な弊害も社会にもたらしますが、やはり社会をより便利に快適に変えていく流れでもあります。これを楽しく、有益に活用していくことが大切です。国際化の流れについては、日本は物とお金の面ではすでに十分国際化されていますが人的にはまだまだです。我々にはないスキルや考え方を持つ外国の人をもっと受け入れ、またもっと海外へ人が出て行き、日本を活性化していく必要があります。そして自由化の流れについては、まだ豊かではなかった時代の日本が築き上げてしまった「業界」の壁を取り払い、もっと自由闊達な社会になっていかなければならない、と考えます。

そしてこうした時代を担っていくべき青年像については、3つの「J」を持った青年が必要です。その3つのJとは、1. 自立した青年: 自ら考え、自らの力で立つこと。2. 自律できる青年: 自らの責任をもって自身をコントロールできること。3. 自信を持った青年: 自らの力に自信を持って、堂々としていること、です。従前の日本では、上のいうことをよく聞いて、黙々と働く人材が求められていた面がありましたが、前述の3つの流れにあるこれからの社会においては、これら3つのJを持った人材でなければ活躍していくことはできないでしょう。

講師: 椎名武雄氏略歴

1951年 3月 慶應義塾大学工学部機械工学科卒

1953年 1月 米国バックネル大学工学部機械工学科卒

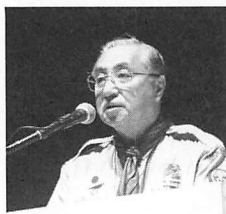
1953年 6月 日本アイ・ビー・エム株式会社入社

1975年 2月 同社社長

1993年 1月 同社会長 兼 経営諮問委員会議長

1999年 12月 同社最高顧問 兼 経営諮問委員会議長

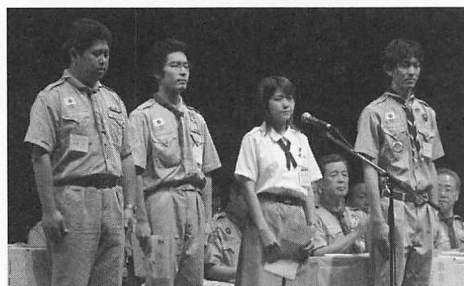
その他、経済同友会終身幹事、財団法人ボーイスカウト日本連盟理事など数多くの要職を兼任



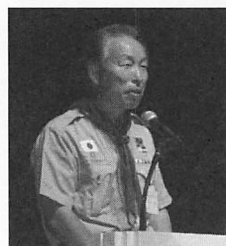
事業報告等



100周年事業について



ギフト・フォー・ピース



石川県連盟から



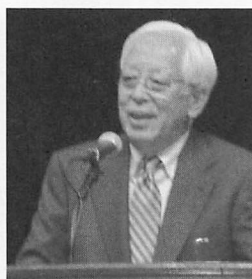
まとめの言葉

さらに、来年の全国大会の開催地石川から、西村稔石川県連盟理事長の挨拶があり、最後に伊藤智是教育本部コミッショナーからまとめの言葉があったのち、全員での連盟歌斉唱、国旗儀礼を行い全体集会第1部が終了しました。

■教育フォーラム・イン・福岡 第1部: 記念講演

15時半からは、会場に一般の方々も迎え、「教育フォーラム」が開催されました。

その第1部は記念講演。日本アイ・ビー・エム株式会社最高顧問椎名武雄氏(日本連盟理事)を講師に迎え、「企業が求める青年像とは」と題し、企業のリーダーから見た現代青年の姿と期待するもの、また現在、椎名氏が理事長を務めるNPO日本ジュニア・アチーブメントのプログラムを通して、青少年育成の在り方などについてご提案いただきました。



■教育フォーラム・イン・福岡 第2部: シンポジウム

続いてはシンポジウム。「青少年が豊かで幸せな社会を構築するために私たちにできることは何か」と題し、現代の青少年は良い社会人として社会や企業が期待する青年像に至るような成長を遂げているのか、あるいは、もっと別な道を歩もう

としているのか、次世代を担う青少年の姿を浮き彫りにしようということで、青少年の現状把握と成人のなすべき支援の方法などについて語り合っていました。

シンポジストには福岡中央銀行代表取締役会長の森山靖章氏、福岡大学教授・就職進路支援センター長の太谷善博氏、NPO法人自然体験活動推進協議会事務局長の重政子氏を迎え、またこの春就職したばかりの新社会人でもあるボーイスカウト北九州第37団ローバースカウトの佐藤健太君が同じくシンポジストとして参加。東海大学教授でもある逢坂伸一ユース特別委員会委員長・年次全国大会企画推進チーム委員が司会を務め、第1部の椎名氏の記念講演で得た示唆に基づき、各シンポジストから青少年の現況やそこにある課題などについてお話を伺いました。

シンポジスト各氏はそれぞれの分野で活躍される方々で、それぞれのお立場での青年たちの現状把握と考えられる課題にしばってお話を伺いました。伺ったお話をもとに会場の参加者各自がその話題を持ち帰り議論の課題としよう、ということで、多くの示唆をいただくことができた意義深いシンポジウムとなりました。

全国大会の第1日(5月21日)は、この教育フォーラムをもって一旦終了。夜には隣接のシーホークホテルにおいて懇親会が開催され、全国のスカウト指導者が一堂に集う歓談の場となりました。

第2日
5月22日
(日曜日)

■多彩な集会在盛りだくさん

2日目(5月22日)は、会場を主にシーホークホテル、福岡ソフトリサーチパーク・SRPホール、地行中央公園に分かれ、多様な集会在開設されました。

意見交換、情報交換、発表等の場としての「テーマ別集会」や「専門分科会」等が開催されました。また午後には全国県連盟コミッショナー会議も開催されました。

この日開催された「テーマ別集会」と「専門分科会」は10頁の通り。それぞれ希望の集会会場に参加者が分散し、題材ごとに意義深い時間が持たれました。各集会、分科会の模様を写真で紹介します。

■スカウト・子ども対象フェスティバルは福岡ベンチャーたちの総力結集!

この日、あいにくの小雨混じりの曇天となりましたが、屋外では一般児童を招いてのフェスティバルも開催されました。

スカウト運動の楽しさを地域の子どもたちにアピールする場とすべく開催されたこのフェスティバル。たくさんの本格的なパイオニアリングによる構築物が立ち並び、ホークスタウンに高くそびえるシーホークホテルの向かいの公園広場に一日だけのスカウトテーマパークができあがったような様子でした。

これらの構築物やそこで展開されるプログラムは、実は福岡県連盟のベンチャースカウトたちの力によるもの。企画、準備、運営のすべてを県内の各地区から集まったベンチャースカウトたちが担当。指導者は安全管理のための警備のみに徹し、ベンチャーたちの動きを見守りました。

数か月前から企画準備を重ね、開催前夜からベンチャー全員が現地泊り込みの合宿状態で臨んだこのフェスティバル。来場する子どもたちを楽しませようというベンチャーたちの頑張りぶりは、この全国大会にさわやかな華を添えてくれました。

また準備のためにベンチャーたちが集まった開催前夜、県下の多くのベンチャーが集まるせつか



ベンチャーフォーラムの様相

くの機会ということで、県のベンチャーフォーラムも開催されました。

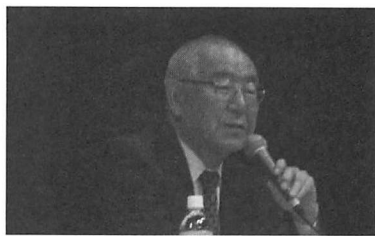
■県連盟コミッショナー会議

この全国大会に併せ、県連盟コミッショナー会議も開催されました。全国47の都道府県連盟から県連盟コミッショナー（代理者を含む）が集ったほか、正副教育本部コミッショナーはじめ教育本部の常設・特別委員会委員長ら10人が参加。新しい教育本部体制と今後の進め方について協議された他、今回の年次全国大会の評価などが行われました。

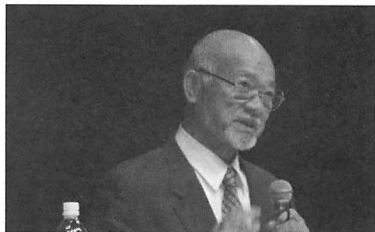


県連盟コミッショナー会議

教育フォーラム・イン・福岡 第2部：シンポジウム パネリスト



森山靖章氏



大谷善博氏



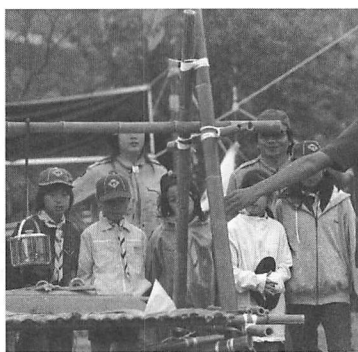
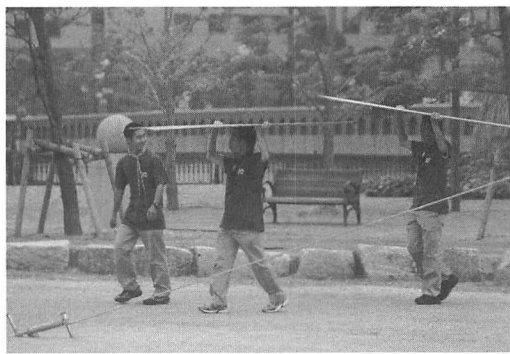
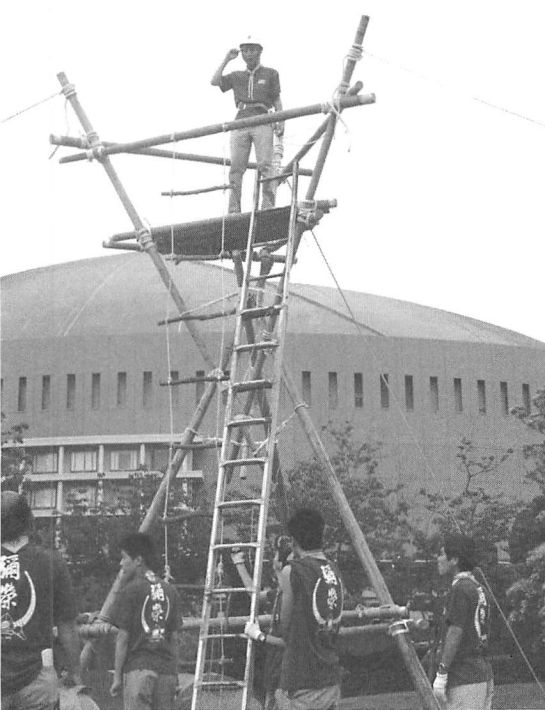
重政子氏



佐藤健太氏



司会 逢坂伸一氏



スカウトフェスティバル

TOPIC 日本スカウトロータリアン発会

専門分科会の1つとして開催されたスカウトロータリアンの集いでは、この機に「日本スカウトロータリアン」を発会することが決まりました。日本連盟に申し出のあるスカウトロータリアンは現在全国で74人ですが、この日出席した24人の互選により、同会の初代会長に鬼塚喜八郎氏（日本連盟理事・神戸RC）を、副会長に上島真一郎氏（日本連盟常務理事・東京銀座RC）、松平頼武氏（日本連盟監事・東京北RC）をそれぞれ選出しました。この会は「国際スカウティングロータリアンズ」に加盟し、日本連盟の組織拡充および維持会員の増大などに寄与すべく活動していくことを確認していました（10頁写真参照）。

同会ではより多くのメンバーを募集中です。全国のスカウトロータリアンの方のお申し出、ご紹介をお待ちしています。

テーマ別集会



【広報】 各都道府県連盟の機関誌・広報誌作成について スカウティング誌について



【組織拡充】 加盟登録業務について 組織拡充事例発表ーモデル県連盟活動の事例発表



【プログラム】 ベンチャー部門ハンドブックの改訂について 障害児スカウティングの現況



【指導者養成】 アダルトリソシス方針 スカウト運動への成人の関わり方 指導者訓練について



【国際活動】 国際活動に関する情報提供 国際活動報告(バングラデシュ等) WOSM・APRに関する情報

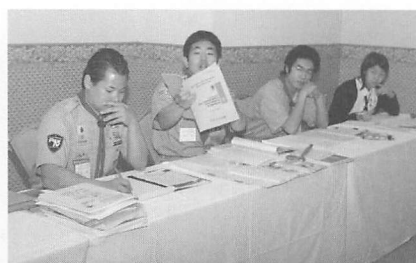
専門分科会



【富士章受章スカウトプロジェクト発表会】 富士章受章スカウトの努力を讃え後進スカウトへの励みとするため実践活動の報告



【スカウトクラブの集い】 全国のスカウトクラブ有志による情報交換と親睦を図る



【ローバースカウト・青年指導者(30歳未満)の集い】 スカウトムート2005について 青年の参画について考える



【トレーナーの集い】 トレーナーとしてどう訓練に関わっていくかなど資質向上について意見交換



【スカウトロータリアンの集い】 スカウト運動に関係しているロータリークラブ会員であるスカウトロータリアンの組織化、世界組織への加入、維持会員拡充等への協力策について協議、相互の親睦

まとめ

年次全国大会を終えて

平成 17年度年次全国大会企画推進チーム

委員長 鈴木 国夫

初めての全国大会にすべての都道府県連盟から、従来の全国会議を上回る多くの皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。

昭和 48 年、「任意団体」と「財団法人」の各ボーイスカウト日本連盟が一体化されて以来、当連盟は財団法人の理事会と、教育本部の全国会議という二つの意思決定機関を持つという課題を抱えてきました。それから 31 年後の昨年 5 月、全国会議のもつ機能は理事会・評議員会に移し、また、全国会議に代わる集会として全国の指導者が集う「年次全国大会」を立ち上げることが決定されました。

直ちに「年次全国大会企画推進チーム」が編成され、初めての全国大会を目的に沿うようにかに行うか～議決権のなくなった大会にすべての都道府県連盟から、そしていかに多くの方々に参加いただくか、参加者に満足いただけるプログラムをいかに提供するか～などの企画について検討を重ね、準備を進めてきました。すでに開催地と決まっていた福岡県連盟には、従来の想定での会場手配がなされておりましたところ、シンポジウムや分科会、展示会、スカウト・子ども対象フェスティバル等々の企画増に対応いただきました。

議席に関係なく誰でも参加できることから多くの方に参加いただけたこと、福岡県連盟のご努力により地域に運動を広くアピールできたことなどの一方、細部にわたり今後改善すべきは改善し、この新しい全国大会が日本におけるスカウト運動発展の一つの基点となることを期待したいと思います。

終わりに福岡県連盟はじめすべての都道府県連盟、講演会・シンポジウムに快くご出演いただいた方々、また教育本部体制の移行期という立場ながらご尽力いただいた委員の皆様へ感謝申し上げます。

平成 17 年度年次全国大会企画推進チーム

(16 年度から継続されたチームのため、役職は当時のもので記載：敬称略)

委員長 鈴木 国夫(理事/総コミッショナー)
委員 西村 稔(中央審議会副議長)
// 富岡 賢一(中央審議会議員/総務委員長)
// 逢坂 伸一(中央審議会議員/プログラム委員長)
// 村田 禎章(中央審議会議員/アダルトリソシス委員長)
// 山田 龍雄(中央審議会議員/国際委員長)
// 熊本 幸雄(中央審議会議員/総務委員)
// 松尾 登(福岡県連盟事務局長)

日本連盟役員・委員名簿

年次全国大会も終わり、17年度の日本連盟事業もそれぞれ始動しています。今号では理事会以下日本連盟の役員・委員会のメンバーをご紹介します。(平成17年6月16日現在)

名簿は敬称略。それぞれ氏名に続いて所属都道府県連盟、あるいは企業名などを記載しています。

理 事

理事長
佐波 正一
(株)東芝相談役
副理事長
橋本 綱夫
ソニー(株)顧問
常務理事
上島真一郎
スエヒロ睦商事(株)顧問
福岡 道生
一色 正士
伊藤 智是
岡谷 篤一
鬼塚喜八郎
(株)アシックス取締役会長
久野 桂
淑徳大学大学院客員教授
古賀 正一
(学)市川学園理事長
小林 公平
阪急電鉄(株)相談役
椎名 武雄
日本アイ・ビー・エム(株) 最高顧問
白井 堯子
千葉県立衛生短期大学名誉教授
杉原 正
(社)中央青少年団体連絡協議会副会長
鈴木 国夫
谷井 昭雄
松下電器産業(株) 特別顧問
橋本龍太郎
衆議院議員
服部禮次郎
セイコー(株) 名誉会長
廣瀬 修
(株)サーベラスジャパンアドバイザーボード ヴァイスチェアマン
山本 一郎
吉田 謙
和田 伸幸

松平 頼武
(学)本郷学園理事長

評議員

(都道府県連盟代表)

雲津 忠宣 北海道
葛西 堯 青 森
上田 有三 岩 手
千田 好男 宮 城
安田 孝司 秋 田
加藤 光洋 山 形
工藤 信行 福 島
竹本 俊一 茨 城
森山 一政 栃 木
稲垣 稔 群 馬
鈴木 政義 埼 玉
中川 義夫 千 葉
佐野 友保 神奈川
前田 紀 山 梨
室橋幸三郎 東 京
高橋 剛 新 潟
窪田菊次郎 富 山
村山 和光 石 川
高見 俊和 福 井
犬飼 康元 長 野
川田 基弘 岐 阜
杉山 博通 静 岡
山本 友秋 愛 知
宇治土公貞幹 三 重
山本 健二 滋 賀
柳澤 傳 京 都
山田 知輝 兵 庫
小城 優 奈 良
北畑 耕作 和歌山
大塚 正和 大 阪
岡田 一寿 鳥 取
井口 誠 島 根
金光榮理雄 岡 山
脇川喜久雄 広 島
市川 熙 山 口
高田 潔 徳 島
塚本 修 香 川
今城 英一 愛 媛
青木 浩 高 知
丸林 茂夫 福 岡

熊谷 勝 佐 賀
江崎 辰男 長 崎
中島 巖 熊 本
戸高 有基 大 分
塩見 一郎 宮 崎
田中 俊實 鹿 児 島
名幸 俊海 沖 縄

(2号会員代表)

新井 裕
(株)オリエントコーポレーション特別顧問
井上 明義
(株)三友システムアプライザル代表取締役
岡部 正彦
日本通運(株) 代表取締役社長
北島 義俊
大日本印刷(株) 代表取締役社長
佐々木 隆
(株)ジェイティビー代表取締役社長
島津 佳夫
(株)東電通代表取締役会長
竹鶴 威
ニッカウエスキー(株) 取締役
塚本清士郎
塚本総業(株) 代表取締役社長
新村 嘉也
高砂香料工業(株) 代表取締役会長
福地 茂雄
アサヒビール(株) 代表取締役会長
福原 義春
(株)資生堂名誉会長
前原 一雅
キーコーヒー(株) 監査役
宮田 勝
本田技研工業(株) 社友

(学識経験者)

石黒 武雄 弁護士
石田 菊美 愛 知
宇野 真之 愛 知
大前 須美 愛 知
長田 光夫 東 京
郷家 智道 宮 城
坂口 満 大 阪
佐野 哲也 兵 庫
新藤 信夫 群 馬

監 事

前川 和義
新日本監査法人相談役

鈴木 節子	静岡
鈴木 武道	世界スカウト委員
瀬瀧 康匡	大阪
田口 榮三	東京
竹宮 帝次	神奈川
野村 正直	愛知
羽生田寂裕	京都
堀 秀之	東京
堀江 建治	東京
村瀬 達明	大阪

中央名誉会議議員

(ブロック選出)

北海道・東北	江尻陽二郎	福島
関東	岩田 照男	東京
中部	黒木 健一	長野
近畿	井上 義雄	京都
中国・四国	池田 重政	徳島
九州・沖縄	秋田 浩	長崎

(学識経験者)

大橋 和子	北海道
児玉 光高	宮崎
佐藤 一石	千葉
篠田 常生	京都
土屋 勝俊	東京

理事会のもとに置かれた委員会

※以下委員会では委員長は☆印、委員長代行は★印、副委員長は◎印

【財務委員会】

☆橋本 綱夫	副理事長
上島真一郎	常務理事
岡谷 篤一	理事
鈴木 国夫	理事
廣瀬 修	理事

【国際協力資金運用委員会】

☆久野 桂	理事
郷家 智道	評議員
前原 一雅	評議員
山田 龍雄	千葉

【西宮・船坂キャンプ場建設委員会】

☆山田 知輝	兵庫
島村 政市	兵庫
三木 康彦	兵庫
山田 明良	兵庫

【世界スカウト運動100周年

記念事業推進委員会】

☆上島真一郎	常務理事
久野 桂	理事
小町 國市	教育本部
齋藤 達郎	青年代表
鈴木 国夫	理事
檀上 善夫	教育本部
堀江 建治	評議員

【GS・BSギフト・フォー・ピース

実行委員会】

(委員)

☆天沼 直子	GS大阪
☆中村 之一	愛知
塩田 晃子	GS千葉
長尾 智恵	GS岡山
林 久美子	GS奈良
高巢 聡	大阪
千葉 宗人	宮城
山本慎太郎	東京

(アドバイザー)

和田 照子	GS日本連盟理事
齋藤 達郎	世界スカウト運動100周年 記念事業推進委員
青木 勇	プログラム委員

【傷害共済運営委員会】

☆岡谷 篤一	理事
阿部 芳行	広島
齋藤 彰	神奈川
鈴木 勝利	埼玉
仙座 猛	北海道
樽谷 進	大阪
富岡 賢一	東京
松尾 登	福岡
森屋 啓	千葉

【第22回世界スカウトジャンボリー

日本招致委員会】

☆佐波 正一	理事長
★上島真一郎	常務理事
◎新藤 信夫	評議員
伊藤 智是	教育本部コミッショナー
杉山 博通	評議員
鈴木 国夫	理事
鈴木 武道	評議員・世界スカウト委員
檀上 善夫	国際委員長
中野 充	国際委員
中野 まり	国際副委員長

若山 裕司	事務局長
小林孝之助	事務局次長

【スカウト運動推進委員会】

☆和田 伸幸	理事
上島真一郎	常務理事
鈴木 国夫	理事
伊藤 智是	教育本部コミッショナー
若山 裕司	事務局長
小林孝之助	事務局次長

教育本部委員

(教育本部コミッショナー)

伊藤 智是	愛知
-------	----

(教育本部副コミッショナー)

篠田 常生	京都
清水 利英	山梨

(常設委員会委員長)

プログラム	上道小太郎	大阪
トレーニング	戸部 恵一	埼玉
組織拡充	渡邊 富昭	愛媛
広報	有野 廣	東京
安全	豊秀 昌彦	宮崎
イベント	西村 稔	石川
国際	檀上 善夫	愛知

(特別委員会委員長)

アガトリソース	西田 弘展	広島
ユース	逢坂 伸一	神奈川

(ブロック選出委員)

北海道・東北	高橋 直克	北海道
関東	山田 隆士	茨城
近畿	本間 隆	奈良

(全国選出委員)

小町 國市	東京
-------	----

(常時参席者)

世界スカウト委員	鈴木 武道
アジア太平洋地域委員	小栗 宏次
県連盟コミッショナー会議からの選出者	
	安斎 精児 福島
	中島 佳一 兵庫
常務理事	上島真一郎
事務局長	若山 裕司

教育本部の各種委員会

【プログラム委員会】

☆上道小太郎	大 阪
◎真山 明夫	東 京
青木 勇	千 葉
赤塚 廣之	大 阪
安藤 正紀	神奈川
小林 透	静 岡
鹿ノ内美智子	福 井

【トレーニング委員会】

☆戸部 恵一	埼 玉
◎池 良弘	新 潟
井上 保	東 京
久保田太郎	大 阪
中橋 邦	宮 城
松本 安嘉	奈 良

【組織拡充委員会】

☆渡邊 富昭	愛 媛
阿南 國康	大 分
河内 正美	群 馬
西村 伸次	京 都
森屋 啓	千 葉

【広報委員会】

☆有野 廣	東 京
佐々木順久	奈 良
中島 清行	茨 城
畠山 武司	福 岡

【安全委員会】

☆豊秀 昌彦	宮 崎
岩井 均	奈 良
薦川 常慶	山 口
渡部 勝司	千 葉

【イベント委員会】

☆西村 稔	石 川
菊地 康介	千 葉
高橋 直克	北海道
遠島 朝美	愛 知

【国際委員会】

☆檀上 善夫	愛 知
◎中野 まり	愛 媛
岩崎 広志	北海道
高橋 譲	宮 城
中野 充	新 潟

【アダルトリソース特別委員会】

☆西田 弘展	広 島
杉野健一郎	東 京
鈴木 令子	神奈川
前田 栄子	大 阪

【ユース特別委員会】

☆逢坂 伸一	神奈川
◎白川 雅之	東 京
伊藤 景如	愛 媛
八尾さと梨	大 阪

【宗教関係代表者会議】

☆上道小太郎	プログラム委員長
仏教 (真宗大谷派)	石神 明 岐 阜
仏教 (浄土宗)	岡本 圭示 東 京
キリスト教 (カトリック)	川原 謙三 東 京
世界救世教	小林 透 静 岡
神道	猿渡 昌盛 東 京
仏教 (曹洞宗)	柴田 尚明 静 岡
キリスト教 (プロテスタント)	辻中 昭一 大 阪
仏教 (浄土真宗本願寺派)	土山 和雅 静 岡
神道	寺井 種治 大 阪
金光教	湯川 浩一 東 京

【記章・標章類に関する検討委員会】

☆堀江 建治	東 京
別所 俊顕	大 阪
森谷 治男	東 京
吉田 俊仁	茨 城
若野 隆生	神奈川

【スカウトムート2005実行委員会】

☆和田 薫	東 京
秋山 善克	学 経
高巢 聡	大 阪
中村 之一	愛 知
成合 秀之	鹿児島
林 あゆみ	岡 山
山本慎太郎	東 京
新開 麻子	GS 千 葉

【第14回日本ジャパリー実行委員会】

☆西村 稔	石 川
◎上島真一郎	常務理事
◎伊藤 智是	教育本部コミッショナー
加藤 光洋 (1SC)	山 形
竹本 俊一 (2SC)	茨 城
渋谷 昌彦 (3SC)	埼 玉
高見 俊和 (4SC)	福 井
浅野 武雄 (5SC)	愛 知

山本 健二 (6SC)	滋 賀
別所 俊顕 (7SC)	大 阪
渡邊 富昭 (8SC)	愛 媛
瀬尾 元治 (9SC)	福 岡
石原 富雄 (総務)	愛 知
有野 廣 (広報)	東 京
並松 猛 (野営管理)	愛 知
奥村 光伸 (輸送)	京 都
飯田 一郎 (見学者案内)	石 川
檀上 善夫 (国際)	愛 知
平澤 邦彦 (救護)	福 井
谷口 修 (全体行事)	大 阪
逢坂 伸一 (選択プログラム)	神奈川
石神 明 (宗教)	岐 阜
膳師 功 (施設資材)	大 阪
内田 宏 (配給)	石 川
井上 久雄 (スカウト用品)	埼 玉
遠島 朝美	愛 知
塚田 道代	GS日本連盟教育活動委員

【日米・日韓スカウト交歓計画実行委員会】

☆柳澤 博	京 都
白川 雅之	東 京
中川 玄一	神奈川
増田 秀夫	千 葉
宮田 敏之	石 川

【21WSJ派遣実行委員会】

☆檀上 善夫	愛 知
高橋 譲	宮 城
高森 茂範	神奈川
龍本 高志	奈 良
中野 まり	愛 媛

ウッドクラフトとは

中村 知 1966(昭和41)年連載

このシリーズはスカウティングの原点に繋がる空気のようなものを、比較的新しい指導者の皆さんにも感じていただくということで、本誌のバックナンバーから価値あると思われる記事を再録・紹介しようというものです。
ページの都合で回の区切りが当時のものと異なることがあります。

序説

1. ウッドクラフトとは何か?
2. これはだれによって創始されたか?
3. シートンとケファートとベーデン・パウエルのウッドクラフトは、どうつながるか?
4. スカウティングの構成上、ウッドクラフトは、どのような部位に、どのくらいのウエイトを占めているか?
5. ベーデン・パウエルは、それをどう展開させようとしたか? すなわち技術以上のものに。
6. 進歩制度からみたウッドクラフトの諸段階の配分はどうなっているか?

など、

以上は私の長年の研究課題である。シートンとかケファートの名前を知ったのは、今を去る40年前の1925年ごろのこと、故佐野常羽先生からシートンのことを、故中野忠八先生や、山口季次郎先達からはケファートについて教えられた。それ以来、ウッドクラフトというものを研究したいと思いつけて今日に至った。

これは私の、あさはかな見方かも知れないが、今の若いリーダーの人々は、シートンだの、ケファートというような有名な人名さえ知らないようである。そんなものは知らなくても、隊長はつとまるし、コミッショナーもつとまる。そういう世の中になったのかもしれない。

けれども、“Scouting for Boys” だの “Rovering to Success” だのを、基本的に読んで、その原理をつかもうとするならば、どうしても、シートンや、ケファートが長年かけてあるいてきた足跡を、一目でも見ておかないことには、ほんとうの理解はできないし、その、含蓄のある味は、わからない。

私は、かつて、相当、素養のあるリーダーが、このウッドクラフトという語を、木工とか手技というように解釈しているらしいのをきいて、あきれたことがある。なるほどWoodは木材でありCraftは技術ということだから木工、または木彫り、と解されぬことはない。その人が、もし、そう信じているのであれば、まことに、お気の毒であるが、やはり基本的な勉強がたりないと申しあげざるを得ない。

私は、目下、スカウティングと宗教との関係を勉強中である。その宗教 — とは、既成宗教とか、特定宗教をさすのではなく、汎宗教をさすのであり、通宗教を意味する

のであるが、この宗教と、スカウティングとを1本に結びつける中間子(媒体)となるものが、きっと、あるにちがいない、と考えて、数種のことを想定しているが、その数種の中のいちばん大きな素粒子が、いまいうウッドクラフトだということに今、している。

そういう時点から私も、ここで一応、ウッドクラフトについての研究をまとめておきたい。

この作業のために読んだ文献は次のとおりである。

(1) Ernest Thompson Seton 著

“The Book of Woodcraft and Indian Lore” 1917年版 p.567.
(初版は1912年)

London. Constable & Co., Ltd. 発行
この本は、10年にわたり “Birch-Bark Roll” (樺の皮の巻物) を載せた文集大成したもので自分がキャンプで実験した事柄を記したという。それは彼の少年時代からの作業だともいう。

(2) Horace Kephart 著

“Camping and Woodcraft”

Vol. I Camping p.405 1919年版
(初版は1916年)

Vol. II Woodcraft p.479 1920年版
(初版は1917年)

別名 “Handbook for Vocation Campers and for Travellers in the Wilderness” ともに New York. The Macmillan Co., Ltd. 発行

この本は2巻本と合本物である。私が読んだのは中野忠八先生蔵書の2巻本で那須野営場に現在保管されている(※1)。ケファートは米国カリフォルニア州(※2)の山中で1904~6年、本格的にウッドクラフトを自修して本書を書いたという。専門的野営家と荒野旅行者用のハンドブックとして書いたという。日本では旧鉄道省編として大正15年6月、「キャンピングの仕方と其場所」と題する本を実業之日本社から発行されたが、その内容はこのケファートの本から主として抄訳したもので、故佐野先生の助言を得て茂木鎮雄氏が筆をとった。口絵の中に日光戦場ヶ原雨中ハイク(佐野伯寄贈) 琵琶湖雄松岬の野営の食器洗い(中野忠八氏寄贈) およびギルウェルのログキャビンの写

真がのっているのはなつかしい。

(3) J.G.Cone 著二つ

“Make and Do the Woodcraft Way” p.122 1963年版(1940年初版)

“Woodcraft Wisdom” p.121 1960年版(1952年初版)
ともに London. C. Arthur. Peason Co., Ltd. 発行

この本は、スカウト用のウッドクラフトに限定した入門書と資料書である。挿絵豊富。日本にはこういう本がないので、スカウトもリーダーも、ウッドクラフトの妙味を知らないのではあるまいか?

(4) ベーデン・パウエル 著

“Scouting for Boys” (※3)

特に、1908年版(1957年復刊本)と1910年版(1910年版は私の恩師故北条時敬先生が、1910年に英国からとりよせ日本青年館に寄贈された)

(5) William Hillcourt, Olave Lady Baden-Powell 共著

“Baden-Powell” (The Two Lives of a Hero) (※4) p.457 1964年初版
本 London. Heinmann 社発行
特に本書にあるベーデン・パウエルとシートンとの交渉の部分は必読。

(6) Baden-Powell 著

“Rovering to Success” (※5)
1963年、1964年版(初版は1922年)
特に、“Open air” についての部分 無宗教の部分

(7) その他

- 東洋的、日本的修験に関するもの
- ルソー著「エミール」のある部分(岩波新書版)(※6)
- 内山賢次訳「シートン自叙伝」1941年白楊社発行
- Dan Beard の伝記
(“Encyclopedia Americana” から)

— つづく

編集部注

- ※1: 現在この本は日本連盟の資料センターに保管されています。
- ※2: 原文ママ。ノースカロライナ州。
- ※3, 4, 5: 翻訳本を日本連盟で販売。
- ※6: 現在は岩波文庫(上・中・下)がある。



～スカウティングと信仰～

宗教関係代表者会議構成員 柴田 尚明

スカウトたちに真の信仰を持つことを指導する上でリーダーたちに求められるものは何か？まずスカウティングと信仰とのかかわりをリーダーたちが理解しなければならないと思います。

ベーデン-パウエル卿は宗教という土台にスカウティングという種をまき、彼の信仰の力によって育てたものがあります。スカウティングはまずその前提によって成り立っています。スカウトたちに野外活動や隊集会を通して信仰についての導きを如何にしたらいいのか、リーダーが確固たる信仰に対する信念を持たなければなりません。そのリーダーの確固たる信仰心が、自然にスカウトたちに影響を与え、リーダーの人格やそれに基づいた行動に対する尊敬の念をもたせることになります。身近なものに対する尊敬や信ずる心を持つことが信仰へのきっかけとなり、それを育てていきます。

「ちかい」の第一条にも「神（仏）と国とに誠を尽くしおきてを守ります」とあるように、スカウトの第一歩は信仰を持つことが必須であることを明示し「おきて」によってその信仰心の実行を約束しています。リーダーの皆さんにももう一度「ちかい」と「おきて」をしっかり見直し、そのすべてが信仰心が土台であることを理解しなければなりません。日本連盟規定にもスカウトの信仰の奨励として「本連盟は、加盟員が、それぞれ明確な信仰をもつことを奨励する。」としています。スカウティングのバイブルと

も経典ともいべきB-P卿の“Scouting For Boys”をリーダーたちが熟読しスカウトたちの指導に当たってほしいものです。

現在の世の中ではスカウトたちが宗教的な雰囲気を経験する機会がほとんどありません。そんな中でもリーダーたちの工夫によって指導できることはあると思います。キャンプやハイキングを通して自然の偉大さや不思議さを感じ、また自然と自分とのかかわりを感じ、隊集会や班活動を通して人とのかかわり合いを知り、大きな自然の中で人々の間で自分は生かされ生かして生きているという実感を持つ機会はいたるところにあると思います。そこに信仰心の発露があります。リーダーがそういうものに対しての敏感な心を持ち、感動の心を持つことがスカウトたちへの大きな信仰についての指導力になります。加盟団の中にはいろいろな宗派や教団によって結成されている団も多数あります。リーダーの皆さんがそんな団に信仰についてのアドバイスを受ける機会があればいろいろと参考になると思います。青少年の健全育成の手段としてのスカウティングは心身を健全に育てる最高の場所だと固く信じています。心豊かなスカウトたちを多数育てていく為にそれぞれのリーダーの皆様のなご一層の研鑽をお願いしたいものです。

おすすめの冊



仏教行事や言葉についてやさしく書かれています。リーダーたちの話の参考になると思います。

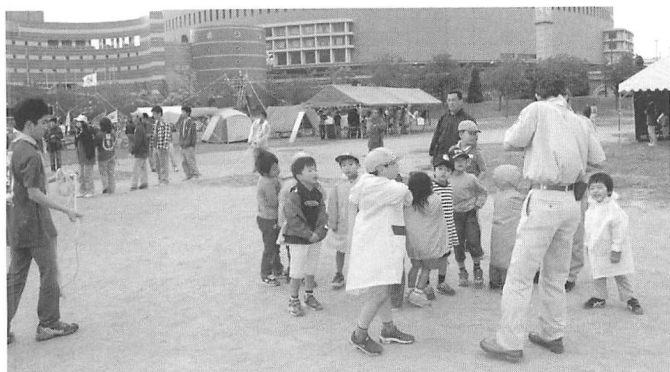
「心をたがやすー法話の花たば」

著者 小島昭安

発行所 曹洞宗大本山総持寺

出版部

頒価 1,600円



INFORMATION

JULY
2005

日本連盟からのお知らせ

■評議員会(第1回)の開催(報告)

日時:5月14日(土)14:00~17:10
場所:東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

出席:佐波理事長他52人、参席3人
協議事項:1. 平成16年度の事業報告について
2. 平成16年度の収支決算について
3. 世話人会の任務と編成について
4. 維持会費の各県連盟への協力依頼と還付金の交付基準について
5. 宗教関係代表者会議における確認事項について

■スカウト運動推進委員会(第2回)の開催(報告)

日時:5月18日(水)11:00~13:30
場所:東京・尚友会館
出席:和田委員長他4人
主な内容:取り組む検討課題の詳細について
アドバイザーへのインタビューについて 他

■理事会(第1回)の開催(報告)

日時:5月18日(水)14:00~17:00
場所:東京・尚友会館
出席:佐波理事長他15人、参席4人
協議事項:1. 平成16年度の事業報告について
2. 平成16年度の収支決算について
3. スカウト運動推進委員会の構成について
4. 中央名誉会議議員の選任について
5. 平成17年度維持会費の各県連盟への協力依頼について
6. その他
1)第22回世界スカウトジャンボリー招致委員会の再編成について
2)宗教関係代表者会議における確認事項について
3)評議員の交代について

■県連盟コミッショナー会議(第1回)の開催(報告)

日時:5月22日(日)12:30~14:30
場所:福岡・福岡ソフトリサーチパーク
出席:1. 伊藤教育本部コミッショナー他副コミッショナー2人
2. 県連盟コミッショナー47人(代理5人を含む)
3. 常設委員会・特別委員会委員長・委員10人
議題:1. 新教育本部体制と今後の進め方
2. 年次全国大会の評価 他

■スカウトムート2005実行委員会(第4回)の開催(報告)

日時:5月29日(日)13:00~17:00
場所:東京・ボーイスカウト会館
出席:和田委員長他7人
主な議題:1. 実行委員会の編成について
2. プログラムについて
3. 野営場の使用と生活について
4. 今後の進め方について 他

■第14回日本ジャンボリー実行委員会(第5回)の開催(報告)

日時:6月4日(土)13:00~16:30
場所:東京・国立オリンピック記念青少年総合センター
出席:西村委員長他22人、参席2人
主な議題:1. 実行委員会と専門部会の編成について
2. 各専門部会の準備状況について
3. 大会本部の組織と業務について
4. サブキャンプ運営要領について
5. 今後の作業日程について 他

■お詫びと訂正

以下の誤りがありました。訂正をお願いします。今後編集部一同、これまで以上に校正に力を注ぎ、このようなことのないよう気をつけて参りたいと思います。申し訳ございませんでした。

- 5月号8頁 <教育本部委員>本間隆氏の選出(誤)全国選出委員 - (正)近畿ブロック選出委員
- 6月号4頁 表彰された方々の章名(誤)人名救助章 - (正)人命救助章

■「日本連盟規定集 平成17年版」の訂正について

平成17年6月7日発行の「日本連盟規定集 平成17年版」について、以下の誤りがありました。お詫びをし、訂正いたします。
○21頁 参考資料: 2.
(誤)2. 教育規定14-10(改正の効力)条文中の「全国会議を経て改正する教育規定」一覧
(正)2. 教育規定14-10(改正の効力)条文中の「教育本部会議出席委員の3分の2以上の同意と評議員会及び理事会の承認を経て改正する教育規定」一覧
○190頁 ボーイスカウトの記章 区分の欄(追加)(13)略章
(誤)(14)略章 - (正)(14)襟略章
(誤)(16)襟略章 - (正)(16)連盟員章
○198頁 指導者・準指導者の記章 寸法の欄(誤)(4)②長方形6.5×5.5cm
(正)(4)②長方形6.5×5.5cm ひし形8.5×6.5cm
(誤)(5)ひし形8.5×6.5cm
(正)(5)(空欄)
○243頁 県連盟規約<参考例>
(誤)第37条(県連盟コミッショナー)の条文
(正)教育規定4-20の条文に差し替え(45頁)

ご支援ありがとうございます

*維持会員(敬称略) スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

2005年4月度		
【青森】	【新潟】	【大阪】
川島 明	宇野 明子	斎藤 実
【宮城】	【福井】	(株)田中食品興業所
郷家 照夫	辻 裏 宏	辻 中 昭一
中 鉢 宏	【岐阜】	【広島】
【茨城】	館 功	南部 敏
小林 成 敏	【静岡】	【香川】
【群馬】	石川 喜一郎	筒井 敏 行
桜井 玉 寿	BS振興静岡県会議員連盟	【高知】
【埼玉】	森 保	森 木 弘 恭
鈴木 政 義	宇 藤 孟	【長崎】
菊地 英雄	【愛知】	(株)親和銀行
川本 宜彦	竹 久 良 允	【宮崎】
【千葉】	野口 泰 弘	(有)クボタファミン
佐藤 計 広	【和歌山】	【沖縄】
【神奈川】	阪 井 和 生	沖 徳 瓦 斯(株)
渡部 公 谷	谷 善 志 郎	【日本】
【東京】	上 東 健 司	賀 田 恭 弘
高橋 久 雄	狩 谷 典 男	



ローカルホットライン

☐ 団
☒ 地区
☒ 都道府県連盟
☐ その他

行事報告
 活動報告
 ...etc

団・地区・都道府県連盟だより

奈良

□ 6 NVが繋いだ福岡と奈良

柏屋第10団 ベンチャー隊 井手 司

2005年3月26日~28日に福岡県連盟柏屋第10団と奈良県連盟生駒第3団のベンチャースカウトが交流プロジェクトを行いました。

ことの起こりは昨年の第6回日本ベンチャー。我が柏屋第10団のスカウトが「奥の細道ロマンの旅in栃木」に参加していた時、同じグループだったのが生駒第3団のスカウトたちでした。意気投合した私たちは交流会を行うことをその場で決め、栃木県を後にしました。

翌月、それぞれの隊で議長が決まり、メール、電話、Faxを使つてのやり取りが始まりました。それから半年後、私たち柏屋第10団ベンチャー隊の中の11人が生駒へとお邪魔することとなりました。

初日は歓迎会とスカウトの家庭にホームステイ。2日目は生駒第3団企画の奈良観光。その後プロジェクト発表会、夜は営火を行い、一緒にキャンプを行いました。そして最終日は柏屋第10団企画の京都観光を一緒に行いました。

福岡と奈良という離れた二つの団が6NVで出会ったことから始まったこのプロジェクトは大成功を収め「スカウトみな兄弟」を強く感じました。そしてさっそく、次のプロジェクトが始まります。8月には生駒第3団のVSが福岡に来るのです。すでに4月上旬には議長も決まり、8月に向けて動き出しました。

これからもスカウト同士の友情から始まるプロジェクトを行っていったらいいな。と思います。





盛大に開かれたボーイスカウト前橋第3団の記念式典

前橋市東部地区を拠点とするボーイスカウト前橋第3団(関口修一団長)が、発団三十周年を記念する式典を四日、前橋市岩神町のグリーンドーム前橋・サブイェントムエリアで開いた。前橋第3団は、一九七四年に前橋第一団から分封(独立)。現在、ビーバー、カブ、ボーイ、ベンチャー、ローバーの各隊合わせて百七十八人が所属する県内有数規模の団となっている。式典では、関口団委員長が「一人ひとりが人格を高め、健康な体を作り、知識を高め、良き社会人となる資質を養いながら、これからも団の発展を」とあいさつ。関口団委員長からカブ隊長に記念の綬が贈られ、全員で弥栄の掛け声を挙げ、三十周年を祝った。

ボーイスカウト
前橋第3団 発団30周年祝う

「人格高め団発展を」

—大津第12団の名物リーダー—

大津第12団

県下でも知らない人のない名物リーダーがこの3月末をもって一線より退きました。が、これまで通り自宅はスカウトに開放し、団会議、組集会、またスカウトの溜まり場として使わせてもらえます。

しまだのオバちゃんの厳しいところは皆よく知っており、例えば玄関での履物の脱ぎ方がなっていないと、その場で外に捨てられてしまったり、言葉遣いがなっていないと大きな声で叱られてしまいます。反面夕食時には食べていきなさいとすすめたり、スカウトはしまだのオバちゃんという名で呼んで慕っています。この島田さんが団のスカウト、保護者向けにこつこつと情報誌を出し続けて早、23号を数えました。一線のリーダーは退いても、変わらず、スカウト、リーダー、保護者とともに大津第12団の発展に力を尽くされることはいうまでもありません。



立科第1団 カブ隊 隊長 永井 真路

4月の爽やかに晴れた日。隣町までサイクリングで行くこと1時間半。山にはまだ雪が残り、道沿いには桜が満開です。

日本家屋のセンターは信州和紙の里。センターの方の説明を聞きながら、初めて体験する和紙作りにスカウトたちも興奮気味です。四角い枠の中に、まだ骨組みのうちわを置き、そこに「コウゾ」と呼ばれる植物の繊維が溶けている水を静かに流し込みます。縦に横に枠を動かし、少しずつ厚みができてきます。それから色の着いた繊維の水を、先がとがった道具ですくいあげながら、のせるように絵や文字を書いしていきます。真剣なまなざし、隣を気にしながらの笑顔。スカウトたちは思い思いに絵や文字を描いていきました。

世界でたった一つの自分で作った和紙のうちわ。昔からの伝統に触れながら、スカウトたちはどんな事を考えたのでしょうか。

帰りは上り坂ばかり。まだ泳ぎ始めたばかりのこのいぼりを横目で見ながら、みんなのペダルの勢いは増して見えました。



薩摩地区 地区コミッショナー 松林 大生

地区内の3こ団が毎年2月に友情を深めることを目的に1泊2日で集います。

今年度は当番が串木野第2団で「こぎだせ未来へ 薩摩の地から〜薩摩の力」のテーマの下に90人の参加者がありました。

カブ混成隊は、1日目はおみやげ作りのプラホビー作り。2日目は混成隊指導者手作りのウォークラリー。

ボーイ混成隊は、2日間を通して「野帳」に取り組みました。不慣れな部分であり指導者の事前学習を要しました。1日目に室内で歩測・方位・野帳の仕組みを学び、2日目に広いフィールドでハイキングを展開し、野帳を仕上げました。

ベンチャー混成隊は、木立の中でブルーシートと木材でリンツ作りを行いました。



群馬

■ 安中榛名第1団
ベンチャー隊 副長
高橋 正江

平成5年に発団した当団に初代ビーバー隊員として入団したスカウトが、昨年「富士章」を取得し、地元紙の上毛新聞に記事として掲載されました。

世界に友達つくりたい

「世界中に友達の輪を広げるのが目標」と話す高橋さん

ボーイスカウトに入団して11年。スカウト活動に専ら心を注ぎ、昨年「富士章」を受賞し、三ヶ月に東宮御所で開かれた皇太子との接見に県代表として出席した。「入団したところの夢だっ

ボーイスカウトの最高位「富士章」を受けた
高橋 大樹さん(17)
安中市原市



園児の時、高崎市内で開かれた清掃活動に参加したのがきっかけで安中、榛名第1団に入団。以来スカウト一筋で、幅広い技術を身につけ、第一の目標を達成した。

次は、団で養った知識や経験を生かし、世界の舞台で国際貢献すること。そのために、二

上毛新聞 (2005.4.21)

投稿お待ちしております

本誌では読者のみなさまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念のキーホルダーをお送りしています。投稿は、文字数400字・写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名・掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。

お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。予めご了承ください。

たくさんの方の投稿をお待ちしています。

(宛先)

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
財団法人ボーイスカウト日本連盟
広報チーム スカウティング投稿係
〈Tel〉0422-31-5163 〈Fax〉0422-31-5162
〈E-mail〉pr@scout.or.jp



National Scout Moot 2005

開催まであと1か月半!

スカウトムート2005

いよいよ開催が近づいてきたスカウトムート2005。参加申込の期限が先月末で過ぎました。申し込み手続きをいただいた皆さんには7月上旬、大会の詳しい資料類を送付の予定です。しっかりと目を通して大会の準備を進めてください。

また大会の情報は、スカウトムートのウェブサイトにて次々と更新されていくので確認をよろしくお願いします。

大会概要

- ・名称 スカウトムート2005
- ・テーマ 『開拓』
- ・会期 2005年8月19日(金)～24日(水) (5泊6日)
- ・会場 ボーイスカウト日本連盟 山中野営場
山梨県南都留郡山中湖村
- ・対象 参加者18歳以上、大会支援者26歳以上
- ・参加費 25,000円 (プログラムにより追加費用あり)

<http://www.ScoutMoot.org>

スカウトムートは、ローバー年代のスカウト自身の手による全国大会で、今回は全国フォーラムを盛り込んだ内容となっている。ローバー活動の活性化を促すとともに、ローバー年代の意見を本運動に反映させる機会とする。～日本連盟平成17年度事業計画より～

あなたもぜひ参加してください

スカウティング・フォト・ライブラリー

日本連盟では、ボーイスカウトの各種PRや、スカウティング誌、スカウトカレンダー、各種パンフレット類などに使用できるデジタル写真ライブラリーの整理・充実を図っていきます。このライブラリー作りにぜひご参加ください。

このフォト・ライブラリーは、下記のような分類整理を行い、多様に活用していきます。

<分類(例):さらにスカウトの部門別など細分化管理します>

■野外活動

ーハイキング
ーキャンプ
ースポーツ
ー食事・料理
ーセレモニー
ーキャンプファイア
ー星座観察
ーサイクリング
ー登山
ー川・湖・海の活動
ー雪の活動

■技能

ー救急・安全
ー通信
ー計測
ーロープ・バイオニアリング

■その他の活動

ー工作
ー演劇等

■各種行事

■国際交流

■笑顔

■友情・仲間

■奉仕

ー救援活動
ー募金活動
ー清掃・ゴミ拾い
ー自然保護

■信仰

■指導者

■保護者・家族

■敬老

■その他



■参加の方法

- ボーイスカウトの各種PR、機関誌等で活用できそうな写真を、Eメール添付でお送りください(随時受付)。
- メールのタイトルは「フォトライブラリー提出」などとしてください。
- メール本文に1.提供者(撮影者)の氏名・所属・住所・電話番号、2.提供いただくお写真の簡単な説明(「04年春の県カンパニーで撮影」など)を記載してください。デジタル写真のデータはより細密なものを歓迎。複数枚同時添付でも結構ですが、メール全体のデータ量が1件につき4MBを超えない範囲でお願いします。各写真データには次項の要領でファイル名をつけてください。

送信先 (財) ボーイスカウト日本連盟広報グループ

アドレス pr@scout.or.jp

※なお多数のお写真を提供いただける場合、CD-Rなどのメディアに記録したものを郵送いただいても結構ですが、各写真データのファイル名を次項に従って整理いただけますよう、お願いします。送付先は20頁目次下に記載の日本連盟宛でお願いします。

■ファイル名のつけかた

お送りいただくデータは、**ファイル名を「2005××●●●●●001.jpg」としていただき(撮影年(西暦)+所属県+氏名+写真番号3桁)**。例えば東京連盟所属の三鷹山正太郎さんが昨年撮られたお写真、5点ご提供の場合「2004東京三鷹山正太郎001」～「同005」というような具合です。ファイル名はお写真使用時等のクレジットに直接反映しますので、何卒よろしくをお願いします。

なお画像ファイル形式は原則として「jpeg」形式とし、必ず拡張子「.jpg」を付してください。

■使用条件・プライバシーポリシーなど

- 提供いただく写真は、提供者本人が撮影したもので、肖像権を有する人物および建築物などが写っている場合は、提供に際し本人(未成年の場合はその保護者)の承諾を得てください。
- 過去コンテストなどに入賞した作品や応募中の作品は提供いただけません(ボーイスカウト日本連盟の写真コンテストは除く)。
- 提供いただく写真の著作権は(財)ボーイスカウト日本連盟に帰属します(ただし提供者本人が所属の団、地区、県連盟などの広報活動等に使用する場合は、これを制限しません)。
- 提供いただいた写真は提供者に予告・事後通知することなく、ボーイスカウト運動普及・振興のために活用しますが、原則としてファイル名につけられた所属県・お名前を基本として「(例)撮影:東京・三鷹山正太郎」とのクレジットを添えることとします。
- ポスター、カレンダー、その他機関誌での主要カットなどで使用した場合には、原則として掲載した媒体を提供者に贈呈します。また使用に際してはトリミングや画像加工処理なども施す場合がありますので予めご了承ください。
- なお、被写体となった方の個人を特定できないよう、名札類、団号章などの画像は処理加工を施したうえで使用します。
- 提供いただいた写真の返却はいたしませんので、予めご了承ください。

■確認事項:重要

ご提供いただく写真は、メール受信および郵送等での受領をもって上記の使用条件などを提供者が承諾したものとみなします。ご提供時には必ず上記の使用条件を再確認のうえ、送信をお願いします。

全国都道府県連盟めぐり

遊びにこんね!

ボーイスカウト長崎県連盟事務局

■県連盟事務局の心がけていること

指導者の皆さんが昼休みにちょっとでも出かけてこれような明るい事務局にしたいと考えています。

いろいろな悩みがあったら、まず「県連事務局に行って相談しよう」と思われるような、頼りがいのある事務局になるように心がけます。

■事務局の場所

長崎県連盟事務局の場所は、長崎市の中心地、浜町に隣接する賑町の電停前（昔なつかしいシンチン電車）徒歩2分のところにあります。

親和銀行(株)長崎支店の一角をお借りして事務局を設けていますが、活動予算はいつも「キュウ、キュウ」です。事務局長が元消防局で「救急」に関係した業務を担当していたため、今でもその影響が出ているのではないかと思います。

■県連盟の活動

事務局では、4地区（長崎・佐世保・中・県北）の活動が活性化するように、いろいろな支援を行

っています。他団体との協力も積極的に心がけ、平成17年度長崎県「しま」巡り交流事業では、幹事団体として県下の子どもたち500人を苓岐市に連れていくことになっています。

また、来年は全国初の「さるく博（歩いて観光地を見てまわる）」が計画されています。

長崎に遊びにこんね! そして長崎のちゃんぽん、皿うどんば食べてみね! うまかばい! まっとっばい!

■所在地など

〒850-0876

長崎県長崎市賑町5-12

(株)親和銀行長崎寮2階

☎095-827-1656

勤務時間: 10:00-15:00 (日曜・祝日休)

ホームページ

<http://www6.ocn.ne.jp/%7Ebskenren/>



親和銀行(株)長崎支店の一角をお借りして事務局を設けています。



(左から) 岩本県連盟コミッショナー、林田先達理事、白浜事務局次長。残念ながら原稿をいただいた秋田事務局長はご不在でした。

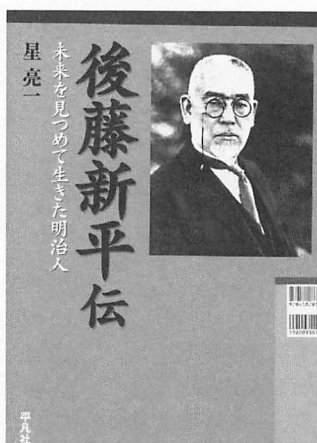
■書籍紹介

『後藤新平 未来を見つめて生きた明治人』
星 亮一

明治から昭和まで、大風呂敷といわれつつ、卓抜の発想と行動力で近代日本の発展に寄与した後藤新平は、ボーイスカウト日本連盟初代総長として我が国の青少年教育にも力を尽くした。

本書は、後藤新平の生涯、人格、事績を読みやすくまとめている。晩年のボーイスカウト運動への顕著な貢献にも触れており、本書の裏表紙には、ユニフォーム姿の後藤新平の写真が掲載されている。我々の初代総長がどのような人物であったかを知るための好著である。

<一般書店でお求めください>



平成17年6月6日発行 平凡社
四六版 384頁 1,800円(税別)

●世界のボーイスカウト®

Malta

マルタ共和国

The Scout Association of Malta

創立: 1908年 WOSM加盟: 1966年

加盟員数: 2,531人

面積316km²、人口37万6千人。地中海シチリア島の南に浮かぶ小さな島国。ここに、カブ、スカウト、ベンチャー、ローバーの部門構成で、40こ団が活動中。マルタに2000年開設された国際スカウトセンターにおいて、2002年にNational Scout Campが開催された。この地で、来年中地中海スカウトジャンボリーが開催される予定である。

(写真は同国連盟ホームページより)

<http://www.maltascout.org.mt/>



SCOUTING

スカウティング

2005年 7月号

No.626

CONTENTS

- 14NJ 来夏へ向け本格始動!..... P2~5
- 平成17年度年次全国大会 福岡にて盛大に開催!..... P6~10
- 日本連盟役員・委員名簿 P11~13
- 原点をたどるシリーズ ウッドクラフトとは..... P14
- 信仰心を育むために スカウティングと信仰 P15
- おしらせ・読者のページ P16~18
- スカウティング・フォト・ライブラリー募集 P19
- 世界のボーイスカウト マルタ共和国 P20
- スカウトショップニュース P21
- 野口聡一さんいよいよ今月宇宙へ
翔べ! きぼうの未来圏へ..... P22~23

発行所 財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者 事務局長 若山裕司

住所 〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
TEL 0422-31-5161
FAX 0422-31-5162
URL <http://www.scout.or.jp/>
E-mail pr@scout.or.jp

■◎財団法人ボーイスカウト日本連盟/写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟広報グループまでご連絡ください。

■バックナンバーをご希望の場合は、日本連盟 広報グループまでご連絡ください。

■本誌は再生紙を使用しています。

夏に向って 野外活動飛躍

快適な眠りは、永年の経験から生まれた。



レインハット

1,600円(税込) 品番-83971

雨の日の活動に一つはほしいアイテム。レインフードの中に被れば周囲の視界が開け、フードもまわりつかないで音がよく聞こえる。防水性、透湿性、耐久性、低結露性の高機能素材使用。リボン左にSCOUTING JAPANの刺繍。

■サイズ:58cmまで ■素材:ナイロン100%、防撥水・透湿3層素材、耐水度:20,000ミリレベル、透湿度:8,000g/m²/24時間レベル



(表面)

(裏面)

キャンティーン 100周年記念モデル

1,600円(税込) 品番-81237

世界スカウト運動創始100周年を記念した特製モデル。数量限定品。

3.35cmの広口スクリューキャップで氷も入れられる水筒。99.7%の純アルミボディの表面は、耐熱エナメル塗装でキズにも強い。内面は匂いや腐食を防ぐ衛生処理加工済み。スペイン、ラケン社製。

■容量:1L ■サイズ:飲み口φ33.5cm、底φ8×高さ25cm



フィールドバッグ

2,500円(税込) 品番-73040

収納に強いフィールドバッグ。A4サイズのファックス用紙が800枚相当入る。両サイドのメッシュポケットはペットボトル用に使い、その他フロントジップポケット、小物ポケット、多用途メッシュポケット、ペンシルポケットなど多彩な収納が可能。SCOUTING JAPANの刺繍入り

■素材:ポリエステル100%、ナイロン100% ■サイズ:32×24×7.5~12cm(奥行き) ■重量:370g

LEDヘッドランプ

2,100円(税込) 品番-89503

高輝度白色光LED 8球使用。2灯・4灯・8灯切替式。照射角度変更可。■電池:単4アルカリ乾電池×3本使用 ■重量:110g 点灯確認用乾電池付属



ボーイスカウトとDONGJING LEISURE社が共同開発したマミー型シュラフ。米国デュボン社のサーモライトエキストラを使用したK1と、中空糸(ホロファイバー)を使ってロフト性の高いK2。サーモライトエキストラはデュボン社特許の中空糸で高いロフト性を発揮し、ダウン以上に断熱保温性に優れています。

1 シュラフK1(ケイ・ワン)

10,290円(税込) 品番-83268

■素材:表地 ダイヤ紋ポリエステル100%、266タフタ/75d、内側 ポリエステル100%、200タフタ/75d
中綿 ポリエステル100%、デュボン社製、サーモライトエキストラ 100g/m² 2層構造 ■サイズ:220×80×55cm ■色:ネイビー/スカイブルー/チャコール ■重量:1,680g ■収納時寸法:37×23×23cm

2 シュラフK2(ケイ・ツウ)

5,040円(税込) 品番-83274

■素材:表地 ポリエステル100%、200タフタ/75d、内側 ポリエステル100%、200タフタ/75d、中綿 ポリエステル100%、ホロファイバーシリコン加工100g/m² 2層構造 ■サイズ:200×75×55cm ■色:ジェイド/ブラック ■重量:1,500g ■収納時寸法:37×23×23cm



トラベルキットケース

グリーン 品番-76733

ネイビー 品番-76737

レッド 品番-76735

各2,625円(税込)

キャンプや旅行に必要な身だしなみ用品がたくさん入れられる。6ポケット3ツ折タイプ、ミラー&吊り下げ用フック付。

■サイズ:折りたたみ時:16×27cm。使用時:44×27cm。

※デザイン・仕様が変更になる場合があります。

カラビナ LEDライト

840円(名入れ代込み)(税込) 品番-90288

840円(名入れなし)(税込) 品番-89495

カラビナ付きのコンパクトなLEDライト。

■特長:高光度なLEDライト(白色1灯)。丈夫で軽いアルミボディ。便利なカラビナ付き。連続点灯10時間の省電力設計。

■サイズ: [本体部分] φ1.4×5.2cm ■素材:アルミニウム

■重量:18g ■電池:ボタン電池LR-41×4個

名入れ例:T. M (ローマ字頭文字のみ) 点灯確認用電池付属

■ご利用にあたってのお願い

- ご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。
- 日本連盟のインターネットホームページからダウンロードできます(http://www.scout.or.jp/jp/info/download/download_etc.html)。
- お支払いにつきましては、ボーイスカウトカードおよび代金引換(代引)のみの取り扱いとさせていただきます。
- ファクシミリ[0422-31-5169 スカウト用品専用]でご注文をお受けいたします。

- カードは計画的にご利用ください。
- お求めは県連盟・取扱協力店まで。またボーイスカウトカードをお持ちの方は日本連盟でもお求めいただけます。

*スカウトカタログ2005-2006等の情報はインターネットでもご覧になれます。

URL: <http://www.scout.or.jp/jp/info/supply/catalog.html>



※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用になれます。



スペースシャトルの復活とともに再開される
国際宇宙ステーション(ISS)の建設
このISSをひとつのステップとして
私たちの夢と希望は、月へ、火星へと
無限に広がってゆくことでしょう
STS-114ミッションは、そんな大きな夢の実現につながるフライトです
私が今取り組んでいる「飛行再開」
それは、大きな宇宙開拓史の中ではほんの小さな動きに過ぎないでしょう
しかし、これをきつかけに
みなさんそれぞれの夢、未来への挑戦につながれば
こんなにうれしいことはありません

(JAXA STS-114リーフレットより)

野口 聡一

神奈川連盟・茅ヶ崎第2団のビーバー隊副長、野口聡一さんのスペースシャトル搭乗・宇宙へのフライトがいよいよ今月、7月13日(米時間)に迫りました(6月16日現在の予定)。本誌前号、6月号14ページでもご紹介したように、兵庫でのカブスカウト入隊以来、主に神奈川でスカウトとして、そしてリーダーとして長年熱心にスカウティングに取り組んでこられた野口副長の、少年時代からの夢が間もなく実現しようとしています。

今月号では、野口副長から日本のスカウト仲間に向けたメッセージを頂戴したいと企画していましたが、残念ながら去る4月8日に行われた記者会見以降、対外的な連絡を断ち、ミッションに全力を注ぐべく集中している段階とのこと。そこで、JAXA(宇宙航空研究開発機構)より「野口さんから日本のみなさんへ」のメッセージをお借りしてご紹介したいと思います。

全国のスカウト仲間で、野口副長のミッションの成功を応援しましょう。

ミッションSTS-114(Space shuttle Transportation System)

野口さんの搭乗するディスカバリー号の主な使命は、シャトル翼の耐熱タイル等の損傷程度の軌道上検査や船外活動による耐熱タイル等の修理技術の検証。および国際宇宙ステーション(ISS)の修理・補給です。野口さんはミッション・スペシャリストとして、船外活動も実施。ISSへの物資の運搬(船内での活動)などを行います。

詳しくは宇宙航空研究開発機構(JAXA)のホームページをご覧ください。 <http://sts-114.jaxa.jp/>

いよ今月宇宙へ

翔と
飛べ！

きぼうの未来圏へ

提供: NASA

あの痛ましいコロンビア号事故から、早くも2年近くたちました
私たちに残されたこの痛みは、完全に癒されることはないでしょう
しかし、私たちは同じところに留まっていけないのです
探求し続けてこそ、未来は開かれていくからです

スペースシャトル

それは、私が未来への夢を描ききつかけとなった宇宙船です
自分が見た夢を、次の世代につなげたい
そのためにも、なんとしても復活させたい
そんな思いで、日々の訓練に励んでいます

アメリカの威信をかけたスペースシャトル飛行再開
そこに日本人宇宙飛行士として参加するのは

やりがいと共に、不思議な感慨があります
情緒的な言い方かもしれませんが

日本人の匠の心意気

ものつくりにかける情熱

アメリカ人クルーとは違った視点からのアプローチ
そんなものを出していければ、と思っています

この旗が野口さんと一緒に宇宙を飛ぶのだ！



今回の野口さんのフライトでは「世界スカウト運動創始100周年」を祝うこの旗が、スペースシャトル・ディスカバリー号に搭載されて宇宙を飛びます。実は平成9年、土井宇宙飛行士の乗るシャトルに搭載された日本連盟創立75周年の記念旗を75周年中央記念式典の会場で土井さんに届けるべく受け取ってくれたのが野口さん。このときの旗は今も東京・三鷹のボーイスカウト会館のロビーに展示されています。今度はその野口さんが自ら世界スカウト運動創始100周年を祝う旗を宇宙へ連れていってくれるということなのです。



75周年中央記念式典壇上で記念旗を受け取る野口さん。舞台奥で座られているのはご臨席いただいた皇太子殿下。

提供: NASA

ボーイスカウトになろう!



たくましさ

自然の中でキャンプやハイキングを通して元気な子どもになります。



自主性

キャンプの食事だって自分たちで作ります。



社会性

野外活動を通して仲間と自然を知り、友情を深めます。



協調性

年齢の違う仲間が助け合って、一つのことを成し遂げます。

ボーイスカウトは子どもたちの自発的な活動を大切に、経験豊富な指導者が見守る中で、子どもたちは『たくましさ』『自主性』『社会性』『協調性』などを学びます。



財団法人

ボーイスカウト日本連盟